

2022年 5月 1日 《誕生祝福式》

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 洋子姉

賛 美 聖歌232番 ~主の臨在の御前で~

使徒信条

聖書朗読 ヨハネによる福音書11章17~26節

特別映像 「ラザロの復活」

メッセージ 「命そのものであるお方」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌402番 ~明日はどんな日か~

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~平和初めて知った~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを心より感謝致します!今週も主の守りと祝福を祈ります!

☆今週の祈り会:○早天祈祷会:明朝6時~。◎祈祷会:木曜午前10時半~
夜7時半~(大和の祈祷会映像に参加)○準備祈祷会:土曜夜8時~。

★来週日曜礼拝では聖餐式、午後は執事会を行います。〈司:白川兄/祈:石井兄〉

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [5/1-8]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	1サムエル 24-25	26-28	29-31	2サムエル 1-2	3-4	5-7	8-10	11-12
新約	ルカ 22:1-23	:24-46	:47-71	23:1-26	:27-56	24:1-3	:33-53	ヨハネ 1:1-34
チェック	○○○	○○○ ○	○○○ ○	○○○	○○○	○○○ ○	○○○ ○	○○○

「命そのものであるお方」

～イエス様は創造主なる神様である～

イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」 ヨハネによる福音書11章25～26節

“You don't have to wait for the End.(世の終わりまで待たなくてもいい) I am, right now, Resurrection and Life.(今この時点で、私自身が復活であり、命そのものだから) The one who believes in me, even though he or she dies, will live.(私を信じる者はたとえ死んでも生きています) And everyone who lives believing in me does not ultimately die at all.(また、誰でも生きていて私を信じる者は最終的に、究極的に、決して死ぬことはない) Do you believe this(あなたは信じますか)?”[メッセージ訳]

ユダヤ人たちは復活を信じていました。ですから、彼らは死んでも決して火葬にせずに、肉体のまま、墓に寝かせる。しかも、エルサレムに足を向けて寝かせるということです。マルタもマリヤも弟が死にましたが、やがてよみがえることは100%信じていました。しかし、今この時点では悲しい別れの時を持っていました。

私たちクリスチャンも同様です。私たちの肉体はやがては尽きて滅んでしましますが、やがて、栄光のお体を頂いて、復活し、永遠に生きる者であることを信じています。

しかし、イエス様がここでマルタに伝えたかったことは全く別の世界でした。それは、イエス様ご自身が、命を与えるお方であるということを示したかった。信じさせたかった。命をお与えにすることができるのは、神様ご自身だけです。イエス様は神様ご自身であることを証明なさったということなのです。

そのことの究極の証明として、ご自身が十字架での死を成し遂げられてから、三日目によみがえられました。ご自身が死なれても、その御力がなくなってしまうことなく、栄光のお体によみがえられたということです。いわゆる、死がすべての終わりではないとも言えます。死んだら無になると考えておられる方もいますが、それは間違いなのです。肉体はただの入れ物に過ぎません。私たちは死んで終わりなのではなく、その後の世界があるということです。

ウクライナのマウリポリではあまりにも多くの方々々が亡くなったので、遺体の腐敗で町が大変なことになっています。生き残ったの方々にも水や食料の供給がなく、危険な状況だということです。水や食料を持ってすぐにも駆け付けたい気持ちになります。その生き残ったの方々にも具体的な助けを祈ると共に、亡くなられたの方々にも主の復活の命、復活の希望が注がれるようにと祈ります。ロシアに責任があります。市民たちに正しい助けを与えるように。